

1949年(昭和24年)

平和宣言

長崎市は原子爆弾により世紀の戦争に終止符を打った世界戦史上明記されるべき都市である。長崎市民は、その悲惨苦を通じて戦争が全人類を破滅に導くことを信じ、長崎における原爆を最後として再び人類が戦争の脅威におののくことをなくし偉大なる原子力は世界平和のため人類の福祉に貢献せられんことを熱願するとともに、本日の祈念式典に当り国際文化の向上と恒久平和の理想達成を目的とする国際文化都市建設法に則り厳粛にして誠実なる世界平和の原動地として全世界に誇る文化と平和の象徴都市を建設せんことを宣言する。

昭和二十四年八月九日  
長崎市長 大橋 博